
〜Friendship〜

Zyubiro

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

＼Friendshiper＼

【Nコード】

N0494P

【作者名】

Zyubiro

【あらすじ】

ここは大都会ベルマータ、今から五百年後の世界、近代的な高層ビルが建ち並び、行きとどいた管理システムの中で皆が暮らしてる。その周辺には廃工場を開拓して造ったニューワンツという町がある。ここには都会に住まない人々が住んでいる。

希望と友情と・・・（前書き）

この物語はその町より遙か遠く、とある小さな村ゴコに住んでいる少年ガウンのお話です。

初めての作品なので、感想を多めにもらえると嬉しいです。

では！

序章―をお楽しみください♪

希望と友情と・・・

―序章―

小さな村に一際目立って建っている赤いレンガ造りの家にガウンは住んでいる。ガウンは近所に住んでいる二つ上の兄貴的存在、セシルとマルシーといつも一緒に探検に出かけていた。

「なあセシル、今日はどこ行くんだよ？」

自慢げにセシルは答えた。

「聞いて驚くな今日行くのはガウン、お前が前から行きたがっていた？森？だ。」

この森はベルマータとゴコのちょうど中間に位置していて人々の大事な資源となっている。

「だいぶ遠くまで来たなあ、ここが森かあ。」

「とうとうこんなに遠くまで来ちまったなあ。」

辺り一面には緑の草、たくさんの木に囲まれていて、小さな川がいくつかが流れている。

川のほとりには美しい花々が咲いていて甘い香りを求めて虫たちがやってくる。たくさん動物たちも暮らしている。

「うおー、すっげー。」

三人とも始めてみる光景に目をキラキラさせていた。

三人は毎日この森に通った。

秘密基地もつくった。

合言葉も・・・。

森では毎日が冒険だった、しかし楽しい日々もそう長くは続かなかった。

「軍人要請命令が発令された？そりゃ本当か。」
あまりに唐突な出来事に驚きを隠せないセシル。

ベルマータは発達するためにいくつもの国々を滅ぼしてきた。
そのためこの国を敵対視する国が後を絶たないのだ。

そのため度々起こる戦争のために何人もの人々が軍人として戦場に駆りだされる。

そして

とうとうその命令がこのゴコの住民にまで下されたのだ。

命令によってたぐさんの村人が連れて行かれた。

戦闘員として大人の男、若い男、医療や食事係には女性選ばれた。

物資調達のために子供までも・・・

残ったのは老人や赤ん坊ぐらいだった。

そしてガウンたちの所にも軍隊の人がやってきて三人も連れて行かれるところだった。

そのとき・・・

「いきなりなにするんだよ！」

なんとセシルがいきなりガウンにとびかかったのだ。

「おい、やめろよ二人とも。」

マルシーが止めにかかる。

だがとうとうガウンはボロボロになるまでやられてしまった。

「まったく、こんなボロボロの身体じゃあ連れて行っても役に立たないな。」

軍隊の人はその場にガウンを残して二人を連れて行った。

ガウンはどうすることもできなかった。

目の前で何が起きているのかさえ理解できなかった。

それぐらいあつという間の出来事だった・・・

程なくしてやっと身体を動かせるようになったガウンはすぐさまセシルの家に向かった。

「おばあちゃん、大変だ。セシルが、セシルたちが！」

ガウンは森での出来事をすべて話した。

「そうかい、セシルがねえ。」

何かを察したようにおばあちゃんはガウンに話をし始めた。

「ガウンよ・・・よくお聞き・・・」

その内容は軍隊の存在や国のこと、そしてセシルがなぜガウンに殴りかかったのかだった。

「そんな・・・」

セシルは、軍隊の人がケガ人など戦地に連れて行くわけがないと察し、わざとガウンにひどいケガを負わせたのだった。

それを聞いてガウンは涙をこらえきれなかった。

どれほど泣いたことか、気が付くと辺りはもう真っ暗だった。

ようやく落ち着いたのかガウンは外に出て行った。
見上げると空には無数の美しい星たち。

ガウンはしばらく星を見ながら歩いていた。

いくらガウンが幼いからといっても少し考えれば分かることだった。

なぜ

セシルがそうまでして自分をこの村に残したのか・・・

希望と友情と・・・（後書き）

ガウンの心情や今後の行動について色々と考えながら読んでいただけると幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0494p/>

～Friendship～

2010年11月21日18時26分発行